

香川高等専門学校				一般教育科（託間）								開講年度		平成24年度（2012年度）													
学科到達目標																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	選択	文学特論Ⅱ	0002	履修単位	2													2	2					富士原伸弘			
一般	選択	数学概論Ⅰ	0003	履修単位	1													1	1					南貴之 橋本竜太			
一般	選択	数学概論Ⅱ	0004	履修単位	1													1	1					田村恭士			
一般	選択	英語特論Ⅰ	0005	履修単位	2													2	2					出淵幹郎			
一般	選択	社会特論Ⅰ	0007	履修単位	2													2	2					石丸健			
一般	必修	保健・体育Ⅳ	0028	履修単位	2													2	2					有馬弘智 横山学			
一般	選択	中国語Ⅰ	0068	履修単位	2													2	2					張文前 崎麗			
一般	選択	自然特論	0001	履修単位	1															2				黒木経秀 野村大輔			
一般	選択	保健・体育Ⅴ	0006	履修単位	1															1	1			有馬弘智 横山学			
一般	選択	数学概論Ⅲ	0008	履修単位	1															2				南貴之			
一般	選択	英語特論Ⅱ	0009	履修単位	2															2	2			水野知津子 畑伸興			
一般	選択	中国語Ⅱ	0010	履修単位	2															2	2			南貴之 前崎麗			
一般	選択	社会特論Ⅱ	0011	履修単位	2															2	2			山岡健次郎 内田由理子			

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	自然特論	
科目基礎情報							
科目番号	0001		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般教育科 (託間)		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	黒木 経秀,野村 大輔						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 d 学習成果 d1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	保健・体育Ⅴ	
科目基礎情報							
科目番号	0006			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教育科 (託問)			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	教科書「アクティブスポーツ」 (総合版) 大修館書店						
担当教員	有馬 弘智,横山 学						
到達目標							
1.ゲーム成立のためリーダーシップを発揮して仲間をまとめることができる。 また、リーダーに対して協力できる。 ゲームを運営できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		審判としてプレイの判定ができたうえで、ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。		ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。		ゲーム成立のためリーダーシップを発揮する人に協力できない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・到達目標 f 学習成果 f1 学習成果 f2 学習成果 f3							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法		それぞれの種目の基礎技術は下級生時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を実施。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、自分の興味ある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。					
注意点		天候により授業内容の変更があるため、常に屋外・屋内どちらでもできるよう準備する。授業参加には、運動に望ましい服装およびシューズの準備、ケガ予防の観点から装飾品を着用しない等の要件を満たすことが必須である。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 選択種目の決定 体育祭の練習				
		2週	体育祭(1)				
		3週	体育祭(2) スポーツテスト(1)				
		4週	スポーツテスト(2)				
		5週	【ソフトボール・ゴルフ・バドミントン】 ゲーム(1)				
		6週	ゲーム(2)				
		7週	ゲーム(3)				
		8週	ゲーム(4)				
	4thQ	9週	ゲーム(5)				
		10週	実技試験 【サッカー・バスケットボール・ソフトバレー】 選択種目の決定				
		11週	ゲーム(1)				
		12週	ゲーム(2)				
		13週	ゲーム(3)				
		14週	ゲーム(4)				

		15週	ゲーム(5) 実技試験				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	英語特論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0009			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科（託問）			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	水野 知津子,畑 伸興						
到達目標							
リスニング、リーディングを中心に、読む、書く、聞く、話すの4技能全ての向上を目指し、国際人として相応しい語学力（英検準2級から2級、もしくはTOEIC350点程度、および教養を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 b 学習成果 b1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	中国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0010			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科（託問）			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	「一年生のころ（ビデオで学ぶ入門中国語）」改訂版						
担当教員	南 貴之,前崎 麗						
到達目標							
中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 文に対する理解、中国語の初歩的理解力		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる程度できる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができない。	
評価項目2 初歩的作文の能力		初歩的作文の能力が身についている、		初歩的作文の能力をがある程度身につけている、		初歩的作文の能力が身についていない、	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 b 学習成果 b1							
教育方法等							
概要		中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。					
授業の進め方・方法		各学習項目ごとに、学習内容の解説とその関連事項を講義する。その講義を基に、繰り返し練習を行い、現実に使われている中国語に慣れる。語彙力並びに文章構築力を高めるための活動をする。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	第9課「了」の表現の復習		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。		
		2週	第9課「了」の表現の復習				
		3週	「結果補語」				
		4週	「結果補語」				
		5週	第10課「会」「時量の言い方」				
		6週	第10課「会」「時量の言い方」				
		7週	第10課「会」「時量の言い方」				
		8週	第11課「過」の使い方、「様態補語」				
	2ndQ	9週	第11課「過」の使い方、「様態補語」				
		10週	第11課「過」の使い方、「様態補語」				
		11週	第12課「可能補語」、「能」				
		12週	第12課「可能補語」、「能」				
		13週	第12課「可能補語」、「能」				
		14週	第12課「可能補語」、「能」				
		15週	前期の学習をまとめ				
		16週	前期期末試験				
後期	3rdQ	1週	第13課「」使役の使い方		初歩的作文の能力を養成する		
		2週	第13課「」使役の使い方				
		3週	第14課「存現文」				
		4週	第14課「存現文」				
		5週	第14課「存現文」				
		6週	第14課「存現文」				
		7週	第15課「もうすぐ～」の表現				
		8週	第15課「もうすぐ～」の表現				
	4thQ	9週	第15課「もうすぐ～」の表現				
		10週	第15課「もうすぐ～」の表現				
		11週	「」すべき				
		12週	「」すべき				
		13週	第16課「方向補語」				
		14週	第16課「方向補語」				
		15週	後期の学習をまとめ				
		16週	後期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	社会特論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0011			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科 (託間)			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『よくわかるジェンダー・スタディーズ』 (木村涼子他) 、『グローバル化とは何か』 (D・ヘルド)						
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子						
到達目標							
・グローバル化の進展する現代世界を考察するための基本的な視点を身につける。 ・ジェンダー概念の重要性を学び、国境を越えた国際的な諸課題を自分の問題として考える。 ・政治・経済・文化といった諸領域の関係性をグローバルな文脈から読み解いていく。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		グローバル化の進展する現代社会を読み解くための基本的な視座を用いて具体的な問題を考察できる。		グローバル化の進展する現代社会を考察するための基本的な視座が身につけている。		グローバルな現代社会を考察するための基本的な視点に欠ける。	
評価項目2		ジェンダー概念の重要性を理解し、そうした観点から問題を論じることができる。		ジェンダー概念の重要性を理解している。		ジェンダー概念の重要性が理解できていない。	
評価項目3		領域横断的にグローバルな視座を活用できる。		領域横断的なグローバルな視座が身につけている。		グローバルな視座を身につけることができていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 a 学習成果 a3							
教育方法等							
概要		講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。学期末試験とその他、適宜レポートなどの提出物を課す。					
授業の進め方・方法		講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ジェンダー概念		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		2週	メディアとジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		3週	貧困・教育とジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		4週	性と生殖に関する健康と権利 (1)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		5週	性と生殖に関する健康と権利 (2)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		6週	暴力とジェンダー (1)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		7週	暴力とジェンダー (2)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		8週	暴力とジェンダー (3)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		2ndQ	9週	暴力とジェンダー (4)		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	

後期		10週	結婚とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		11週	宗教とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		12週	農村開発とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		13週	結婚とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		14週	政策とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		15週	前期のまとめ	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。
		16週	前期期末試験	前期の内容の理解度を確認する。
	3rdQ	1週	グローバリゼーションとは何か（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		2週	グローバリゼーションとは何か（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		3週	文化とグローバリゼーション（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		4週	文化とグローバリゼーション（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		5週	文化とグローバリゼーション（３）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		6週	経済とグローバリゼーション（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		7週	経済とグローバリゼーション（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		8週	グローバルな人の移動（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
	4thQ	9週	グローバルな人の移動（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		10週	グローバルな人の移動（３）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		11週	政治とグローバリゼーション（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		12週	政治とグローバリゼーション（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		13週	国民国家を越えて（１）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。

		14週	国民国家を越えて（２）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		15週	後期期末試験	後期の内容の理解度を確認する。
		16週	総括	一年間の総括を行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0